アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ

No. 91／ 2014 年 8 月

「アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ」 第91号をお届けします．このところ，暑さが大変身にしみます．

【1】7月AP研開催の御報告

7月のAP研は，日本三名泉である岐阜県の下呂温泉がある，下呂市民会館で行われました．AP研特別講演として，KDDI研の伊藤泰彦氏をお招きし，“衛星通信：ちょっと聞かない話”というタイトルで講演して頂きました．ITUの無線規制委員会の委員の立場で国家間のもめ事を裁定するという普段では聞けない話を講演頂きました．またチュートリアル講演では，名城大学の中條　渉先生をお招きして，“ミリ波衛星通信のための降雨減衰補償ダイバーシティ技術”というタイトルで御講演頂きました．衛星通信にとって，降雨減衰対策は大きな課題でありますが，これを衛星軌道ダイバーシティと周波数ダイバーシティで克服する技術の研究を紹介頂きました．

伊藤　泰彦氏（KDDI研）

中條　渉先生（名城大）

【2】9月AMT研開催の御案内

第二種研究会“無線設備・アンテナシステム測定技術研究会（AMT研）主催のチュートリアルワークショップ（第7回），“基地局アンテナおよび大型アンテナの測定技術”が，9/10に産業技術総合研究所 臨海副都心センター にて開催されます．廣瀬 雅信氏（産総研），小宮 一公氏（NTTドコモ），高橋 徹氏（三菱電機）の3名を講師にお招きしております．9/1まで申し込みを受け付けております．どうぞ，ご出席ください．

https://www.ieice.org/cs/ap/jpn/index.php?amt/tutorial201409

【3】9月AP研開催の御案内

9月のAP研は9/18,19に，東京工業大学にて，マイクロ波研究会と併催，新学術領域電磁メタマテリアル，メタマテリアル第187委員会，IEEE AP-S Japan Chapter, IEEE MTT-S Japan Chapter, IEEE MTT-S Kansai Chapter, IEEE MTT-S Nagoya Chapter協賛で行われます．A・P／MW研併催のオーガナイズドセッションとして，「電磁メタマテリアルのアンテナ・マイクロ波応用」(オーガナイザー 真田 篤志（山口大）・道下 尚文（防衛大）・日高 青路(村田製作所)・鈴木 恭宜(NTTドコモ))を，さらに新企画として，「学生による学生のためのA・P研学生セッション」（オーガナイザー 村田健太郎（防衛大））が企画されております．発表者，オーガナイザー，座長は全て学生で構成されています．さらに，IEEE AP-S

Japan Chapterとの共催による特別講演として，佐藤敏雄氏（元KDD）より“衛星通信黎明期のアンテナ”というタイトルでの御講演を，そしてチュートリアル講演として鈴木　博先生（東工大）から“移動無線通信における高速伝送技術”というタイトルで御講演がございますので，どうぞ皆様ふるってご参加ください．

【4】11月AP研のお申込みの御案内

11月のAP研は山形大学にて開催されます．RCS研との併催で活発な議論が期待できます．皆様のお申込みをお待ちしております．

【5】9月ソサイエティ大会開催の紹介

9月23日～26日に徳島大学で開催される電子情報通信学会ソサイエティ大会では，AP研主催の

BS-1．大規模マルチアンテナシステムに向けたアンテナ・伝搬・信号処理技術

と，マイクロ波研共催の，

BCS-1．周期構造を利用した電磁メタマテリアルのアンテナ・マイクロ波応用

の二つのシンポジウムが開催されます．一般講演も初日の23日から最終日の26日までございますので，皆様ふるってご参加頂き，活発な議論や情報収集を図ってください．

【6】無線で未来を描き続けるアンテナ・伝搬ならびにその関連システムの論文特集論文募集案内（和文論文誌B）の御案内

これまで，無線技術を用いた携帯電話や高画質放送などは，現在の生活の基盤となってきました．そしてこれからは，高齢化，国際化，防災，防犯，言語の壁，エネルギー供給などの課題の解決に，無線技術が引き続き未来の生活の基盤となるものと考えられます．そこで，“無線で未来を描き続けるアンテナ・伝搬の技術ならびにその関連システム”と題して最新の研究成果について，論文を募集します(2015年9月号)．

投稿締切：2015年1月6日（火）厳守
第1回判定通知：2015年2月下旬を予定
最終判定通知：2015年5月中旬を予定
発行月：2015年9月号
http://www.ieice.org/jpn/books/ronbuntokushu/cfp_JB_2015.9.pdf

【7】副委員長の戯言

7月の下呂温泉の研究会には，沢山の皆様にお集まりいただき，ありがとうございました．下呂温泉のお湯は，さすがに日本三名泉，肌のすべすべ感がたまらない良い温泉でした．ファンになってしまいました．温泉のあとのビールも定番ですが，注文した『アサヒスーパードライ』中瓶のラベルに『飛騨』の文字が書かれていました．飛騨地方限定で出されているとのことです．中身は飛騨の水で作られているのかと期待しましたが，HPで確認したところ，名古屋工場で作られていました．しかし湯上りには極上でした．温泉地での研究会もよいものですね．幹事さん，ご苦労様でした．

8月の研究会はSANE研との併催で，レーダ・センシング関連の最新の研究発表が集まりました．新潟といえば日本酒が有名ですが，最近はワインも注目されているとのこと．新潟の気候や地形が，フランスのボルドーに似ていて，ワインを作るのに適しているそうです．発表共々こちらも楽しみです．

〈問い合わせ先〉

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長　長　敬三（千葉工大）
E-mail：ap_ac-chair@mail.ieice.org（AP研執行部のメールアドレス）
AP-NET：AP研の最新情報を毎月メールにてお届けします!!　登録はAP研HPにて
AP研HP：http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/
ISAP Archives：　http://ap-s.ei.tuat.ac.jp/isapx/